

週刊
Go Weekly
基

喜び50倍

東京V

第1回四都県対抗小中学生囲碁大会

財団法人日本棋院・四都県対抗小中学生囲碁大会実行委員会
協賛：新日本製鐵株式会社



東京の代表選手みんなで「ヤッター」

第1回四都県対抗
小中学生大会

東京VS. 千葉は26勝24敗の大接戦

規模拡大に期待!

一気に入倍
昨年は千葉と埼玉との対抗戦だった本大会。大好評だったことを聞きつけ、今年は東京と神奈川も参加することに。規模が一気に二倍になったのである。

大会実行委員の一人で

第一回四都県対抗小中学生囲碁大会(主催：日本棋院・四都県対抗小中学生囲碁大会実行委員会、協賛：新日本製鐵株式会社)が五月十九日、日本棋院で行われた。東京、神奈川、千葉、埼玉から、五十人の代表が参加し、リーグ戦で激突。選手が二百人以上も詰め掛け、会場は熱気と興奮に包まれた。試合が終わった後は勝っても負けてもみんな笑顔に。こどもたちは大会を心から楽しんだ様子だった。

(記・朴道純)



審判長の矢代女流本因坊による指導

1チーム50人

ある山下功さんは「私の教室に通っている生徒のちよつとした思い付きがきっかけでした。二百人以上の選手が参加するほどの大会になり、本当にビックリしています」と目を細めた。

審判長である矢代久美子女流本因坊のかげ声とともに、一回戦がスタート。こどもたちは碁盤に集中し、会場はさらに熱気を帯びていく。こどもたちの着手はとにかく早い。徳増梨乃さん(東京代表)が最初の勝ち名乗りを上げたのは対局開始からわずか十分後である。団体戦特有のプレッシャーにより、徳増さんは緊張してしまつたらしい。しかし中盤で大石を仕留め、勝利が目前になるとチームに貢献できるうれしさが胸がいっぱいになったようだ。

「今日の大会は本当に楽しかった。いい思い出になります」と徳増さん



優勝カップを手にニコリ

東京、神奈川、千葉、埼玉で競う



1チーム50人で合計200人の団体戦は未曾有のスケール

成績表		東京	神奈川	千葉	埼玉	勝敗	順位
東京			○① 37-13	○② 26-24	○③ 36-14	3-0	1
神奈川	X① 13-37		X③ 16-34	X② 23-27		0-3	4
千葉	X② 24-26	○③ 34-16		○① 36-14		2-1	2
埼玉	X③ 14-36	○② 27-23	X① 14-36			1-2	3

荒川翔太郎君(東京都)の半目勝ちが確認されると東京代表の選手たちは大興奮。チームの勝利を心から喜び、荒川君のがんばりをたたえた。「僕が負けるとチームが引き分けになるなんて知りませんでした。対局後に友達に教えられ、ビックリ。勝ててよかった」

半目に大興奮

荒川翔太郎君(東京都)

千葉が二回戦で対決。両者は一歩も譲らず、一進一退の好ゲームとなった。こどもたちは対局が終了した後も元気がいっぱい。早番を打ったり、友達とおしゃべりしたり、仲間を応援するなど、思っただけの楽しさでいっぱいだった。

一回戦で神奈川を下した東京と、埼玉を破った千葉が数多く集まり、チームメイトを応援していた。最終戦を残し、成績は敗。天王山となった五将戦のまわりにはこどもたちが数多く集まり、チームメイトを応援していた。

は喜んでいた。

こどもたちは対局が終了した後も元気がいっぱい。早番を打ったり、友達とおしゃべりしたり、仲間を応援するなど、思っただけの楽しさでいっぱいだった。

一回戦で神奈川を下した東京と、埼玉を破った千葉が数多く集まり、チームメイトを応援していた。最終戦を残し、成績は敗。天王山となった五将戦のまわりにはこどもたちが数多く集まり、チームメイトを応援していた。

〈第28回世界アマ・大特集〉

世界の68選手が総本山に
日本代表、森洋喜さんに期待

◆二大連載講座

最新定石ファイル&筋力ジム

次号予告

(6月11日発売)